

## 進捗状況の概要

### 1. 地域の持続的発展（地方創生）に貢献するための取組

本事業は、福井大学をCOC+大学とし、県内すべての4年制大学（福井県立大学、福井工業大学、仁愛大学、敦賀市立看護大学）がCOC+参加大学となり、地域志向教育の充実、産業の創出、地域課題の解決により、地域の持続的発展に貢献するとともに、学生の地元定着率の向上に連携して取り組むことを目的としています。特に、地域志向教育については、各大学で地域志向科目を学生に修得させるため、必須化や体系化する仕組みを整えた事に加え、福井県の協力によりJR福井駅に隣接して整備したサテライトキャンパス「大学連携センター（Fスクエア）」における、地域志向科目の共同開講に向け準備を進めました。福井大学においても、平成28年度に向け全学部の共通教育を一元化し、カリキュラムを体系化しました。具体的には、地域の諸課題に対処できる実践力を有する人材育成のための「地域コア科目群」を新設、2科目4単位を必修とする改革を行いました。また、県内には優れた技術や商品を有し、世界的シェアを持つ企業が多数存在することから、地域の企業の魅力を学ぶ機会を増やすことで地域のニーズにも応えられる特色人材育成のための「学びのカタチ」を創る取組みを始めました。

### 2. 雇用創出に向けた取組

大学・自治体・企業等が連携し、参加各大学の強みを活かすことで地域・企業等の活性化・産業振興により、雇用の創出に繋がります。更には、インターンシップの強化・拡充を通して、受け入れた企業が県内学生の資質・能力をこれまで以上に理解することにより、雇用を拡大させることに取り組んでいます。また、福井県内への定着及び雇用創出に向け5大学が連携し、3部会10ワーキンググループを設置する等の体制整備を行いました。

### 3. 地域への定着を増やす方策

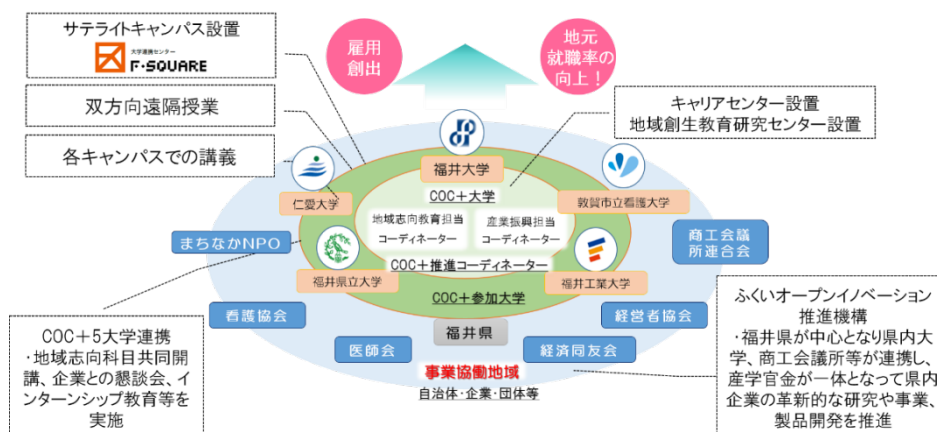
本事業では、高度専門職業人として地域への定着を増やす方策として「ふくい地域創生士」認定制度を設け、認定要件の検討を開始しました。また、学卒者の地元定着に繋げる取組みとして、県内高校生の県内大学への進学率向上を目的とした「福井県内5大学合同進学説明会」の実施に向けた検討を開始しました。

### 4. 養成される人材（卒業後の学生のイメージ）

「ふくい地域創生士」の認定プロセスに取り組むことは、基礎学力と専門知識を活かしきる力を備え、多様なグローバル及びローカルな課題を解決できるマインドの醸成に繋がります。また、「前に踏み出す力（アクション）」を備え、課題を見つけ出し解決への努力を行うことで「考え抜く力（シンキング）」を習得し、これらを協力して行うことにより社会に出て必要とされる「チームで働く力（チームワーク）」も身に付けることが出来ます。“ふくい”をフィールドとして学んだ学生が、近い将来それぞれの地域で多くの人たちと集い・融合することで、地域あるいは活気ある日本を創造する担い手となることが期待されます。

### 5. 学生及び、事業協働機関から寄せられる期待

「Fスクエア」で学ぶ学生は、各大学の教員から直接学ぶことができ、多様な学問に対する理解を深めることが期待されます。また、自治体や産業界からも「Fスクエア」が、学生・大学と地域や企業との「学び・交流」の場（共通キャンパス）として活用され、地域創生の担い手となる人材育成に結びつけられるよう期待が寄せられています。地域活性化や企業発展への課題を見つけ、解決に繋げる能力を持つ学生の育成を、自治体や産業界は強く求めており、その実現に向かって、事業協働機関が緊密に連携し、地域で活躍できる人材の育成に取り組むたいという声も寄せられています。



（COC+大学名：福井大学、事業名：地域創生の担い手を育み活気あるふくいを創造する5大学連携事業）